

■温室効果ガス削減の目標

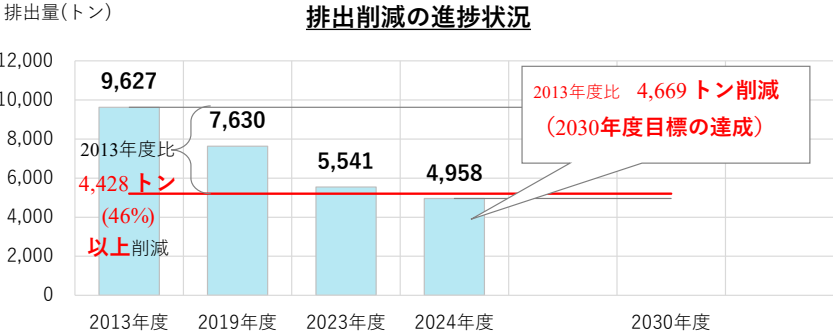
	削減目標（政府目標値）
2030年度	2013年度比 46%（4,428トン）以上
2050年度	カーボンニュートラル

■温室効果ガス排出量の推移

広島空港の2024年度の温室効果ガス排出量は、2023年度比583トン減少の4,958トンである。
2030年度の政府目標(2013年度比46%以上の削減)を達成している。

	温室効果ガス排出量(トン)			
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度
空港施設	9,155	7,221	5,150	4,643
空港車両	472	410	392	315
計	9,627	7,630	5,541	4,958

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数…2019年度：0.636、2023年度：0.551、2024年度：0.520
空港全体の商用電力使用量(kWh)…2019年度：1,099.6万、2023年度：905.0万、2024年度：820.9万

■2020年度～2024年度の温室効果ガス排出量の増減背景

広島空港では、2023年度に立体駐車場が竣工し建築施設が増加したものの、カーポート型太陽光発電の運用が開始されたことで、商用電力の使用量が減少している。主に契約されている電力会社の排出係数も減少傾向にあることから、温室効果ガス排出量は減少を続けている。この間、空港の利用（航空機運航回数や旅客数）はコロナ前の水準以下に留まっている。

■2020年度～2024年度の脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	➤ 建築施設照明のLED化や省エネルギー運用、空調の高効率熱源の導入、空調・換気の省エネルギー運用の取組が行われた。 ➤ 航空灯火、エプロン照明灯、駐車場外灯のLED化が行われた。
空港車両に係る取組	➤ 電動車の導入が行われた。
再エネ導入促進に係る取組	➤ 2023年11月にソーラーカーポートが設置・開始された。
その他の取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)